

特定健診・基本健診のおもな検査項目と健診判定値

■基本的な検査

検査項目		基準値	保健指導判定値	受診勧奨判定値	この検査でわかること
身体計測	腹 囲	男性 85 未満 女性 90 未満	男性 85 以上 女性 90 以上	——	内臓脂肪蓄積の目安となります。
	B M I	18.5～24.9	25 以上	——	BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で計算され、肥満を判定する目安です。
測 血 圧	収 縮 期 血 圧	130 未満	130 以上	140 以上	血圧が高い状態が続くと動脈硬化が進み、脳卒中、心臓病、腎臓病などの原因にもなります。
	拡 張 期 血 圧	85 未満	85 以上	90 以上	
血 清 脂 質 検 査	中 性 脂 肪	150 未満	150 以上	300 以上	多過ぎると皮下脂肪や内臓脂肪として蓄えられ、動脈硬化や肥満の原因にもなります。
	HDL コレステロール	40 以上	40 未満	35 未満	善玉コレステロールと呼ばれるもので、低いと動脈硬化の原因にもなります。
	LDL コレステロール	120 未満	120 以上	140 以上	悪玉コレステロールと呼ばれるもので、高いと血管壁に沈着して動脈硬化の原因にもなります。
糖 代 謝	空 腹 時 血 糖	100 未満	100 以上	126 以上	血糖値が高くなると、糖尿病が疑われます。
	ヘモグロビン A1c (食後9時間以内の方)	5.6 未満	5.6 以上	6.5 以上	1～2ヶ月前からの血糖値の指標です。高くなると糖尿病が疑われます。
肝 機 能 検 査	A S T (G O P)	30 以下	31 以上	51 以上	高い値を示すと種々の肝障害や心筋障害が疑われます。
	A L T (G P T)	30 以下	31 以上	51 以上	
	γ - G T P	50 以下	51 以上	101 以上	アルコール性肝障害や、閉塞性黄疸等で測定値が上昇します。
検 腎 機 能 検 査	e - G F R	50 以上	——	50 未満	腎臓のろ過機能を測る指標です。50を下回ると慢性腎臓病が疑われ、透析治療などが必要になります。
尿 検 査	蛋 白	陰性 (-) 弱陽性 (±)	——	陽性 (+) 以上	陽性の場合、腎炎やネフローゼ等の腎疾患が疑われます。健康な人でも一時的に出ることがあります。
	糖	陰性 (-)	——	——	陽性の場合、糖尿病が疑われますが、陰性でも糖尿病を否定できないため空腹時血糖・ヘモグロビン A1c 値と併せて判断します。

■詳細な検査…医師が必要と判断したもの

検査項目	この検査でわかること	
心 電 図 検 査 (12 誘 導 心 電 図)	不整脈等の心臓の異常を調べます。	
眼 底 検 査	高血圧や動脈硬化、糖尿病性網膜症等の状態を調べます。	
貧 血 検 査	赤 血 球 数	赤血球数や血色素量、ヘマトクリット値が低いと貧血が疑われます。
	血 色 素 量	
	ヘマトクリット値	

※後期高齢者健診では腹囲測定及び眼底検査は実施しません。